

第七十四回
帝國議會
貴族院

軍馬資源保護法案特別委員會會議事速記録第八號

昭和十四年三月十七日(金曜日)午後一時
三十七分開會

○委員長(伯爵壽口直亮君) ソレデハ本日
ノ委員會ヲ開催致シマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今御審議ヲ
願ッテ居リマス軍馬資源保護法案外二件ニ
付キマシテハ、豫テ本會議及ビ當委員會劈
頭ニ於テ御説明申上ゲタ通りデアリマスガ、
資源法ハ我が國ニ於ケル馬政ノ現狀ニ鑑ミ
マシテ、國內ノ現存馬ノ資質ノ向上ヲ圖ル
コトニ關スル陸軍ノ要望ノ次第モアリマス
ノデ、此ノ軍ノ要求ニ應ズルニ遺憾ナカラ
シムル爲ニ之ヲ制定セムトスルモノデアリ
マシテ、一日モ速カニ其ノ成立ヲ希望致シ
テ居ルノデアリマス、勿論一面ニ於テ軍ノ
要求ニ應ジマスルト共ニ、又一面農業ニ於
ケル所ハ耕作及運搬其ノ他ニ對シマシテ馬
匹ノ充實及向上ヲ圖ルコトハ最モ緊要ノコ
トデアリマシテ、是等ニ付キマシテハ常ニ
意ヲ用ヒテ居ル次第デアリマス、右法案中
鍛鍊馬ノ競走ニ關シマシテ一言申上ゲテ置
キタイト存ジマス、軍用保護馬ノ鍛鍊ニ關
シマシテハ、之ヲ普通鍛鍊ト鍛鍊競技ニ分ッ
テ居リマシテ、普通鍛鍊ニ於キマシテハ、

軍馬トシテ必要ナル能力及馴致ノ向上維持
ヲ圖ルコトヲ目的ト致シ、鍛鍊競技ニ於キ
マシテハ、普通鍛鍊ヲ受ケタル軍用保護馬
ノ能力及馴致ノ審査ヲ行ヒ、併セテ一般人
ニ對シテ軍馬ノ資源ニ關スル知識ノ普及ヲ
圖ルコトヲ目的ト致シテ居リマス、而シテ
右鍛鍊競技ノ一部トシテ優秀馬ノ投票ヲ行
フ鍛鍊馬競走ヲ、北海道三箇所以內、一府
縣一箇所以內ヲ限リ認ムルコトト致シマシ
テ、是ガ實施ニ伴ヒマシテ、從來内務農林
兩省令ニ依ッテ施行シ來リマシタ地方競馬
ハ之ヲ廢止致スノデアリマス、此ノ機會ニ
於キマシテ地方競馬ニ付テ一言申上ゲテ置
キタイト思ヒマス、地方競馬ハ現在全國百
十六箇所ノ多キニ上ッテ居リマシテ、各其ノ
地方ノ事情ニ即シテ馬競ヲヤッテ居リマス
結果、馬政上ニ於テモ又社會風教上ニ於テ
モ種々ナル弊害ガ生ジテ居リマシテ、其ノ
改善整理ノ必要ニ付キマシテハ世論モ之ヲ
認メテ居ルト存ジテ居ルノデアリマス、從
ヒマシテ一日モ速カニ是ガ改善ヲ期スルコ
トハ極メテ緊要ト存ズルノデアリマスガ、
現在ノ情勢ニ於キマシテハ遽カニ全國百十
六箇所ニ上ル地方競馬ヲ整理致シマスコト

ハ至難デアアルコトハ申上グル迄モナイコト
ト存ジマス、故ニ今回ノ軍馬資源保護法ニ
於キマシテハ、鍛鍊馬競走ノ制度ヲ設ケマ
シテ、現今ノ地方競馬トハ全然面目ヲ改メ
テ施行致シ、軍馬資源ノ充實ニ直接寄與セ
シムルコトヲ考慮シタノデアリマス、而シ
テ此ノ優等馬票ノ發行ニ付キマシテハ、將
來是ガ整理改善ニ善處シタイト考ヘマスガ、
現狀ニ於キマシテハ此ノ程度ノ整理ニ致シ
マスコトガ最モ必要ト思フノデアリマス、
勿論此ノ度ハ一定ノ規律ノ下ニ、一定ノ取
締ノ下ニ秩序アル競馬ヲ致サセタイト存ズ
ルノデアリマス、此ノ鍛鍊競技ハ馬匹改良
上非常ノ働キヲ致スコトハ固ヨリ申上グル
迄モナイノデアリマシテ、要シマスルノニ、
其ノ取締竝ニ監督其ノ宜シキヲ得マスレバ、
必ズシモ世間ノ非難ヲ除去スルコトガ出來
ナイトハ考ヘナイノデアリマス、尙此ノ際
或ハ御質疑ガアツタト思ヒマスガ、地方鍛鍊
馬競走ニ關シマシテ、衆議院ニ於キマシテ
地方稅ヲ課セザル旨ノ修正ヲセラレタノデ
アリマスガ、政府ハ此ノ際ニ於キマシテ、
從來稅金ヲ一地方ニ於テ既ニ地方稅ヲ取ッ
テ居ル方面モアリマスノデ、本來ノ軍馬資

源保護カラ申セバ或ハ議論ガアルコト考
ヘマスケレドモ、現在財政ノ資源トシテ微ッ
テ居リマシタ關係上、是ハ或ハ地方稅トシ
テ存置シテ置クコトガ必要デハナイカ、若
シクハ納付金制度ノ改メルコトガ宜イデハ
ナイカト云フ風ナ考ヲ以チマシテ、此ノ際
此ノ修正ニ同意致シ兼ネル旨ヲ政府トシテ
衆議院ニ於テ申シテ居ッタ譯デアリマスガ、
勿論兩院ヲ通過致シマシタ場合ニ於キマシ
テハ、固ヨリ之ヲ尊重考慮致シマシテ取扱
ヒマスコトハ固ヨリデアリマシテ、要シマ
スルノニ、此ノ財源ノ關係ニ於テ地方ガ一
時困難ヲ來シハシナイカト云フコトヲ考ヘ
マスケレドモ、併シ本法案ハ十四年度ハ關係
ノナイコトデアリマシテ、其ノ點ニ付キマ
シテハ左程ノ困難ヲ本年ハ感ジナイト考ヘ
テ居リマス、要シマスルノニ、貴族院ニ於キ
マシテノ御決定ニ依ッテ、政府ハ之ニ對シテ
考慮致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、
尙一般馬政ト馬券トノ關係ニ付キマシテハ、
此ノ上トモ慎重考究致シマシテ馬匹ノ改良
ニ資スルト同時ニ、社會風教上ニ付キマシ
テモ深甚ナル注意ヲ拂ヒタイト存ズル次第
デアリマス、何卒此ノ際速カニ御審議ヲ願

ヒタイト存ズル次第デアリマス

○國務大臣(板垣征四郎君) 只今農林大臣カラ御説明ガアッタノデアリマスガ、私カラモ一言附加ヘテ申上ゲタイト思フノデアリマス、今回ノ事變ニ於キマス徵發馬ノ成績ニ鑑ミマシテ、我が國ノ一般地方馬ノ資質ガ甚ダ不十分デアリマシテ軍馬所要ノ能力ノ發揮シ得ナカッタト云フコトハ、各位ニ於カレマシテモ既ニ御見聞ニナツテ居ルコトト存ジマス、其ノ原因ハ種々アリマセウガ、取別ケテ我が國一般地方馬ノ飼養管理ガ不適正デアリマシテ、發育不善又ハ榮養不良トナリ、馬ノ天賦ノ能力ヲ發揮シ得ナカッタモノガ多イノデアリマシテ、加フルニ平素筋骨ノ鍛鍊ガ不十分デアリマス爲ニ、軍ノ軍役ニ就キマスルヤ、容易ニ過勞癆斃ニ陥リマス状態ニ相成ルデアラウト思ヒマス、從ヒマシテ軍ニ於キマシテハ、地方馬ノ資質ノ向上ヲ圖リマスコトハ、實ニ國防上刻下緊急ノ要務ト認ムルノデアリマシテ、實ハ此ノ點ニ關シマシテ昨年六月農林當局ニ對シマシテ之ガ善處方ヲ特ニ要望致シタノデアリマス、軍馬ノ資源保護法ノ如上軍ノ眞摯ナル要望ニ基イテ制定セラレムトスルモノデアリマシテ、其ノ内容ト致シマシテハ、所要ノ軍用候補馬ニ對シテ飼養費ヲ補

助シテ飼養管理ノ改善ヲ圖ルト共ニ是ニ、所要ノ鍛鍊ヲ施シテ以テ馬ノ能力ヲ向上シ何時徵用サレマシテモ戰時ノ軍馬ノ仕事ニ遺憾ナカラシメムトスルノデアリマスガ、ソレ故ニ陸軍ト致シマシテハ固ヨリ是ニ絶大ナル期待ヲ繫ケテ居ルノデアリマシテ、現下ノ時局ニ鑑ミ一日モ速カニ本案ノ通過ヲ見、國防ノ安固ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙本案中鍛鍊馬競走ハ、本法案ノ重大使命デアアル所ノ馬ノ鍛鍊事項ノ一方法ト認メラルルノデアリマシテ、所謂普通鍛鍊ヲ受ケマシタ軍用保護馬ノ能力及馴致ヲ致シ、併セテ軍用馬ノ資格、能力、管理、調教及鍛鍊等ニ付キマシテ正確ナル認識ヲ普及徹底スルコトヲ目的トスルモノデアリマスルガ故ニ、從來ノ地方競馬トハ勿論其ノ根本精神ニ於キマシテモ、其ノ施行方法ニ於キマシテモ全然異ルモノガアルト考ヘテ居ル次第デアリマスガ、少クトモ從來動モスレバ其ノ弊害ノ少クナカッタト認メラレマシタ地方競馬ヲ根本的ニ改善致シ、能ク軍馬資源保護ノ目的ニ副ハシムルモノデアアルト信ジテ居ル次第デアリマス、之ヲ要スルニ本法案ハ今回ノ事變ノ經驗ヲ基礎ト致シマシテ、軍馬資源ノ充實整備ヲ圖リ、現下國軍ノ切實ナル要望ヲ充足セム

トスル劃期的ノ法案デアリマスルガ故ニ、何卒一日モ速カニ御審議ヲ了セラレムコトヲ特ニ切望スル次第デアリマス
○委員長(伯爵瀧口直亮君) 是ヨリ前會ニ引續キマシテ御質問ヲ願ヒマス、本日ハ幸ニ兩大臣御列席デゴザイマスカラ、先ヅ大臣ニ對シテ御答辯ヲ求メラレル方ハ此ノ際願ヒマス
○子爵會我祐邦君 私ハ兩大臣ニ御質問ヲ致シタイト思ヒマス、只今農林大臣ノ御説明及ビ陸軍大臣ノ御説明ハ明カニ私モ了解致シタ點デゴザイマスルガ、根本ニ觸レテ私ハ御尋ヲ致シタイ、詰リ日本ノ馬政ト云フモノニ對シテノ樹テ方ガ、只今仰セラレマシタ如クニ鍊鍛競馬ノ如キモノガ重要ナル一ツノ出發點ノ一ツデアアルト云フコトニ付テハ、私ハ見解ヲ異ニシテ居ル點ナンドゴザイマス、詰リ此ノ馬政ト云フモノニ付キマシテ、長イ間國家及軍當局ガ之ニ對シテ努力ヲ拂ハレマシタ結果、今日ノ馬ハ以前ノ馬カラ見マスルト非常ニ良イ馬ガ出來テ居ルト云フコト、是ハ明カニ認メルノデゴザイマス、併シナガラ此ノ馬ヲ良クスル爲ニ馬券ガ今日存在シテ居ル、馬券具シテ博奕ナリヤ何ヤト云フコトハ屢、議論ノ岐レルコトハ別ト致シマシテモ、少クトモ只今ノ説明

ニモ其ノ弊害ノアルト云フコトヲ兩大臣トモ仰セラレテ居ル、此ノ點ニ於キマシテ之ニ弊害ノアルコトヲ認メルト云フコトヲ前提トシテ伺フコトガ其ノ一ツデアリマス、此ノ馬券問題ニ付キマシテハ、先程モチョット私ガ此ノ委員會申上ゲマシタガ、詰リ極ク古イ時カラ此ノ歴史ヲ持ッテ居リマスモノデアリマシテ、最モ論議セラレマシタノハ第二十四議會デアッタト存ジマス、時ノ陸軍大臣寺內正毅君ハ之ニ對シマシテ、馬券ノ弊害ノ著シキモノガ若シアリトセバ、之ハ將來禁ジナケレバナラヌト思フト云フヤウナ御話デアリマシタ、而シテ一方カラハ軍馬ノ所謂馬ノ動員計畫ト云フモノガ、其ノ基礎ノ上ニ間接ニ形ヅクラレルト云フコトデアリマス、之ガ御質問致シタイ點デゴザイマス、軍ノ要求デアリマス所ノ人的動員、即チ是ハ徵兵令、動員令ニ依リマシテ明カニ實ニ立派ニ行ハレテ居ルノデゴザイマス、而シテ物資ノ動員、是ハ又國家總動員法ニ基キマシテ行ハレルヤウニ今日ハナッテ居リマス、即チ鼎ノ足ノ三本デアアルベキ所ノ軍馬ノ動員計畫ナルモノハ、或ハ見合セナケレバナライコトガアルカモ知レナイト云フ不安定ナル基礎ノ上ニ形ヅクラレテ居ルト云フコトハ、軍ノ名譽ニ於テ又軍

ノ執ルベキ方法ニ於テ、外ノモノニ較ベテ著シク不安心ナモノデアリヤウニ私ハ思フノデアリマス、陸軍ガ果シテ軍馬ヲ、秩序的ニ又計畫的ニ軍馬ノ根本方策ヲ立テルニ當ツテハ、金ニ致シマシタラバ外ノモノカラ較ベレバズト少クテ出來ルノデアリマスカラ、之ノ何トカ永久不變ノ根本策ヲ茲ニ樹立セラレテ、サウシテ斯ウ云フヤウナ極端ナコトハ、若シ假ニ馬券ノ如キモノガ不淨ノ金デアルト云フヤウナ定義ヲ下スモノガアリト致シマスナラバ、此ノ國家ノ動員計畫デアル所ノ馬ノコトヲ、博奕ヤ何カノ金ニ依ツテヤルヤウナ見苦シイコトヲセズニ、モット儼タル所ノ計畫ノ上ニ立テラレルコトガ必要デハナイカト思フ、ソレデ果シテ陸軍ハ將來機會ガアッタラバ此ノ根本ノ方策ト云フモノヲ、サウ云フヤウナモノニ關係ナク樹立セラレル御考ガ陸軍トシテアラレルヤ否ヤ、又國家トシテ、農林省ハ之ヲ御考ニナルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、又續ケテ質問ヲ致シタイノデゴザイマスガ、ソレデ馬券ト云フモノニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ非常ニ論議サレマシテ、其ノ後大日本競馬協會デアリマシタカ、其ノ設立サレマシタ際ニ於キマシテモ、本議場ニ於テ屢、論議

サレテ居ルノデゴザイマス、要スルニ此ノ政府當局ノ御答辯ニナリマスコトハ、前後ヲ通ジマシテ、馬ノ知識ト云フモノヲ一般國民ニ普及セシメルノデアルト云フコトガ、此ノ理由ノ大イナル問題ノヤウニ承ルノデゴザイマス、果シテ競馬ニ行ツテ馬券ヲ買フ所ノ民衆ガ、馬ニドレダケノ知識ヲ果シテ持ツカ、其ノ持チシ知識ガ、果シテ直接間接ニ國家ノ馬ノ動員ノ上ニドレダケ貢獻ヲ齎スモノデアアルカト云フコトヲ見マシタナラバ、人ニ依ツテ議論ハ自ラ岐レルデゴザイマセウ、併シナガラ常識ヲ以テ之ヲ見マサル時ニ、多クノ人ハ恐ラクハ此ノ馬券ヲ買ツテワア、騒グ所ノアノ連中ガ其ノ知識ヲ持ツテ居ルカ、日本ノ馬政ノ上ニ大イナル貢獻ガアルカト云フコトニ結論ガ到着スルコトハ恐ラクハナカラウト私ハ思フノデゴザイマス、其ノ馬券ノアリマス爲ニドウ云フ状態ニ現狀ハナツテ居ルカ、馬券ノアリマス爲ニ隨分此ノ競馬ニ熱中シテ、又競馬「ファン」トデモ申シマセウカ、彼等ノ熱中ノ程度ハ實ニ想像以外ナモノガゴザイマス、或ハ家庭ヲ破壊シテシマヒ、或ハ主人ノ金ヲ持出ス、或ハ自分ノ財産ヲ蕩盡スルト云フコトハ、是ハ朝夕我々ガ耳ニスル所デゴザイマシテ、其ノ弊害ノ大ナルコトハ日一

日ト殖エツツアルノデゴザイマス、是ハ何人モ否ムコトノ出來ナイ一ツノ社會的ニ起ル所ノ現象ダト云フコトハ明カノヤウニ私ハ信ズルノデアリマス、此ノ馬券ノ結果、サウ云フヤウナモノガ社會上ニ擴ガツテ來ルト云フコトハ、今日ノ時代、殊ニ今日ノ時代ニ於テ如何ナモノデアリマス、カト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス、國家ハ國民精神總動員、舉國一致色々名ヲ以テ我々ノ精神ノ緊張ヲ要求シテ居ラレルノデアリマス、然ルニソレガ段々ト擴ガツテ行クト云フコトニナリマス、殆ドソレハ殖エクトスレ、減ルト云フ見込ハナイノデアリマス、斯クノ如クシテ行キマスルノミナラズ、驕ツテ此ノ二年間ニ互ル戰地ニ出動シテ居ル所ノ勇敢ナル所ノ我ガ將卒ハ、祖國ノ爲ニ身命ヲ捧ゲ、陛下ノ御前ニ戰死スル覺悟ヲ持ツテ、恐ルベキ炎熱、強キ所ノ酷寒ト戰ヒツツ有ラユル困難困苦ニ耐ヘテ働イテ居ル彼等ガ、一度祖國ヲ離レテ戰地ニ行キマス時ノ心理状態ハ、恐ラクハ銃後ノ我々ニ於テハ想像シ得ナイ強キ愛國心ノ結晶デアルト私ハ思ヒマス、彼等ノ多クハ戰地ニ於テ從容トシテ笑ツテ一身ヲ捧ゲ、天皇陛下萬歲ヲ叫ンデ戰死スル、實ニ誇ルベキ驚クベキ所ノ愛國精神ガ發露サレテ居ルコトヲ我

我ハ皆知ツテ居ルノデアリマス、又日本帝國ノ所謂、日本國民デアアルコトノ誇リヲ感じツツ所謂人柱トナツテ居ルノデアリマス、然ルニ彼等ニ於キマシテモ、此ノ多クノ者ハ恐ラクハ此ノ弊害ノアルコトヲ想像シテ居ルト私ハ思フノデアリマス、戰地ニ於キマスル彼等ガ今度地方競馬ガナクナツテ公認ノ競馬ガ十何箇所モ出來ル、我々ノ郷土ニモソレガ出來タサウダ、我々ハ斯ウ一生懸命ヤツテ居ルニ、博奕ガ斯ウ流行ツテハ、我々ノ良風美俗ヲ著ヘテ居ル所ノ我々ノ郷土ニ於テ、又此ノ博奕熱ガ流行ルト云フヤウナコトガアッタナラバ、是ハ實ニ馬鹿氣ヲ話ダ、實ニ殘念ナ話ダト云フコトガ彼等ノ頭ニ起ル大キナ反響デアルト思フノデアリマス、地方ニ於キマスル所ノ醇風美俗ト云フモノニ對シマシテ、何處迄此ノ弊害ガ及ブカト云フコトハ見方ノ問題デハゴザイマセウガ、爭フベカラザル事實ト致シマシテハ、競馬場ニ行キマス所ノ東京カラ乗込ム所ノ所謂競馬「ファン」ナル者ハ、勝ツ者ハ其ノ金ヲ持ツテ其ノ地方ニ於ケル飲食店ヲ豪遊ヲ試ミドンチャン騒ギヤル、ソレデ負ケ者ハシホ、歸ルノカモ知レマセスガ、少クトモ勝ツ者ガ何人カアリマス、地方デ遊ビ贅澤ニ味ヲ極メル、其ノ地方デ

ハ嘗テ見タコトノナイヤウナ醜態ヲ演ジ、彼等ノ淳朴ナル青年ノ間ニ見セ付ケラレル爲ニ、或ハ東京カラ變ナ女ドモヲ連レテ行ッテ騷グト云フコトハ、之ヲ地方ノ純真ナル所ノ青年ニ見セルト云フコトハイケナイモノデハナイカト思ヒマス、況ヤ此ノ時局ニ於テハ此ノ點ニ付テハ爲政者ハ十分ノ注意ヲ拂ハレルコトヲ私ハ必要トスルト思フノデアリマス、地方ニ於キマスル所ノ彼等ガソレヲ見ル、是ガ人間ノ生活デアルカ、是ガ人間生涯ノ幸福ノ意味デアルカト云フヤウナコトニ一度誤解ヲスルヤウナコトガアリマシタナラバ、到底地方ニ如何ニ國民精神總動員、舉國一致ヲ強調致シマシテモ、何等其ノ結果ヲ得ルコトナクシテ、滔々地方ニ其ノ弊害ガ擴ガルモノト思フノデアリマス、私ハ此ノ際一步ヲ進メラレテ、政府モ弊害ノ大イナルモノアルヲ認メ、之ヲ出來ルダケ改良シ又之ガ監督ヲシテ、其ノ弊害ノ全然除カレムコトヲ希望シテ居ルカラ、此ノ法案ヲ通シテ呉レト云フ御話デゴザイマスケレドモ、是ハ餘程一ツ御考ニナッテ、一步ヲ進メテ日本ノ馬政ト云フモノヲ根本的ニ充實スル、サウシテ現在ニ於ケル地方競馬ヲ全部廢メテシマフ、ト云フコトハ極端ナコトデアッデ是ハ出來ナイ、是ハ御察シ

申シマス、又色々ナ議論、摩擦相剋ヲ起スカモ知レマセヌガ、私トテモ今日理想カラ申シマシタナラバ、總テノ馬券ヲ廢シテ、今日存在シテ居ル所ノ競馬法ニ依ッテ許サレテ居ル所ノ公認競馬其ノモノモ廢メタイノデゴザイマスケレドモ、是ハ只今モ御説ノアツタ五十歩百歩ダト云フ議論ガ最後ニ殘ルカモ知レマセヌケレドモ、暫ク是モ仕方ガナイト思ヒマスケレドモ、今日地方競馬ノ百十幾ツニ代ヘルノニ四十幾ツヲ以テスル、思ヒ切ツタ改革デアル、以テ其ノ弊害ヲ矯メルニ足ルト云フ議論モアリセウガ、是ハ見様ニ依リマシテハ羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ售ルト云フコトニナルノデハナイカト私ハ疑フノデアリマス、寧ロ此ノ際ソレダケノ御確信ガアルナラバ、四十幾ツノ地方競馬モ宜シウゴザイマス、之ヲ五十ニナスッテモ宜シウゴザイマス、唯斯ウ云フ馬券的ノ、博奕的ノ行爲ヲ全然御禁止ニナッテ、此ノ鍛鍊馬ノ競走ニ對シマシテハ十分ナ賞金ヲヤッテ、馬主ヲ獎勵ナサル、又競馬其ノモカラ見マス時ニ於キマシテハ、競馬ノ特徴ハ何デアアルカ、速イ馬ヲ見ルニアルト云フコトヲ前提トシテ居ラレルノデアリマス、然ルニ鍛鍊馬ニ要求サレデ居ル所ノモノハ、必ズシモ速力デハナイノデアリマス、持久力、抵抗

力、體格ノ丈夫ト云フコトガ必要條件ノ最モ強イモノデアリマス、此ノ時ニ於キマシテ、軍部ノ要求スル所ノ所謂重騎兵ノ乘リマシヤウナモノ、輓馬ノヤウナモノニ騎乗致シマシテモ、是コソ馬其ノモノノ競技ヲ見ルト云フコトニ於テノ興味ハ甚ダ薄イモノガアリハシナイカト思フ、寧ロ一步ヲ進メテ、地方鍛鍊競馬ニ於キマシテハ十分ノ賞金ヲ與ヘテ馬匹ノ改良ヲスル、一方ニハソレニハ子供モ女モ年寄モ皆行ッテ其ノ馬ニ對スル所ノ知識ヲ普及スル、國民ニ知識ヲ普及セシメルト仰セラレマスケレドモ、今日ハ「ファシ」ノ外ハ入ルコトモ出來ナイ、此ノ競馬場ニ所謂家庭ノ子女ヲ伴ウテ、之ヲ見セルト云フコトハ實際出來ナイ話デアル、博奕ヲ打ツ所ノ氣分ノ人達ガ馬券ヲ買ヒニ行ク、又勝ツタ負ケタト言ッテ騷イデ居ル醜態ハ何デアリマセウ、殆ド人間ノ最モ淺マシキ利慾ニ動ク所ノ人間ノ半面ヲ明カニ現シテ居ル所ノ醜態デゴザイマス、之ニ對シテ我々ガ子女ヲ連レテ行ッテ、ソコヲ見セルト云フコトハ出來マセヌ、所謂馬匹ニ對スル知識認識ト云フコトハ斯カル場合ニ得ルコトハ出來ナイノデアリマス、詰リ馬券ヲ買ッテ其ノ利益ヲ當テニスル人間ノミノ行ク所デアリマスカラ、馬匹ニ對スル知識、或ハ認識

ト云フヤウナ言葉ヲ仰セラレマスガ、實際ノ問題トシテハ甚ダ疎イヤウナコトダト私ハ思フノデゴザイマス、願ハクハ、私ハ意見ノヤウニナリマスルケレドモ、政府ニ御質問シタイノハ、將來ニ於テ何カノ機會ニ於テ儼然タル一ツノ「システム」ノ上ニ、秩序的ノ軍馬計畫ト云フモノヲ樹立サレルヤウナ御考ハ將來無イカト云フコトヲ、陸軍ノ御方ニ伺フノミナラズ農林大臣ニモソレヲ伺ッテ、サウシテ願ハクハソレニ對スル御返答ヲ得タイト云フコトデゴザイマス、ソレト同時ニ一步ヲ進メテ、又繰返シマスガ、鍛鍊競馬ニ於テハ馬券ヲ御許シナクテ、箇所ハ何箇所デモ宜シウゴザイマスカラ、賞金ヲ少シ思ヒ切ツテ御出シニナッテ、馬ノ飼養者ヲシテ之ニ満足セシムルヤウナ方法ト、及ビ獎勵ヲ御考ニナル餘地ハナイカト云フ、此ノ二ツノ點ヲ先ニ伺ッテ私ノ質問ヲ一先ツ打切りタイト思フノデゴザイマス

○國務大臣(板垣征四郎君) 只今御質問ノ要點ハ、此ノ馬券ノ弊害ニ鑑ミテ、將來此ノ馬政ト馬券トノ關係等ニ付テ、根本的ニ研究ヲスル考ハナイカト云フ御質問ノ要旨ニ承リマス、陸軍ト致シマシテモ、此ノ馬券ノ弊害ト云フコトニ付テハ、其ノ弊害ノアルコトハ固ヨリ認識シテ居リマスガ、今

直チニ全部之ヲ根本的ニ整理致シマスと云フコトハ適當デナイ、先程カラ申上ゲマシタ通りニ、今回ノ馬政、即チ軍馬ノ資質ヲ向上スル爲ノ馬政計畫ハ、陸軍ト致シマシテモ是ハ多大ノ期待ヲ掛け、劃期的ノ馬政トシテ、農林當局ニモ非常ナ御努力ヲ願フテ居ルヤウナ次第デアリマス、從ッテ其ノ目的ヲ達成スルト云フコトハ勿論重要ナモノデアリマスガ、只今御話ニナリマシタ所ノ馬券ノ弊害ニ付テハ、詰リ此ノ風教上ニ及ス害ハ之ヲ認メテモ、直チニ之ヲ全廢スルコトガ出來ナイト云フ事情ニアリマスノデ、將來ニ於テ研究ノ上、逐次之ヲ改正シテ行クト云フ必要ガアルモノト認メテ居ル次第デアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今會我子爵カラ馬券ノ弊害ニ對スル根本ノ御話ガゴザイマシテ、私共深く傾聴致シタノデアリマス、唯御承知ノ通り、現在ノ日本國民ノ全體ノ上カラ申シマス、ドウモ此ノ馬事思想ト云フモノハ普及致シテ居ラナイノデアリマス、農村ノ一部ニ於テハ之ヲ役馬トシテ使ッテ居リマスケレドモ、他ノ方面ニ於テハドウモ馬事思想ト云フモノハ普及致シテ居ナイ、從ヒマシテ今回ノ如キ事變ニ際會致シマシテモ、一番此ノ馬匹ノ缺乏ヲ感ジテ

居ルヤウナ次第デアリマシテ、ドウカシテ馬匹ノ増殖ヲ圖リ、其ノ資質ノ向上ヲ圖ルト云フ事柄ハ、最も大切ナ事柄デアリマスノデ、御話ノ如ク馬券ノ如キモノヲ利用セズシテ、サウシテ若シ馬ノ増産並ニ其ノ資質ノ向上ヲ圖リ得ル途ガアリマスレバ之ニ越シタコトハナイト存ジマス、今回馬政計畫トシテ御審議ヲ願ヒマシタ豫算モ、二千萬圓ヲ超過シタ巨額ノ金額ヲ出シテ御協賛ヲ願フテ、サウシテ此ノ馬匹ノ改良及ビ増殖ニ對シテ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、而モ其ノ内容ニ付テ考ヘマス、馬ヲ一頭田舎カラ持ッテ來テ、一日掛ッテ何里ノ道ヲ歩イテ持ッテ來ル、ソレニ對シテ僅カ三十五錢位シカ給與ガ出來ナイ狀態デアリマス、又一里ニ對シテ僅カ五錢位シカ旅費ヲ與ヘナイ、ソレカラ馬ヲ養ッテ居ル人ニ對シマシテモ、二百數十圓掛カルモノニ對シマシテ僅カ三十何圓、三十圓内外ノ補助シカ出ナイヤウナ譯デアリマス、サウ云フ狀態デアリマシテ、容易ニ此ノ馬ノ増産發達ト云フモノガ期シ得ラレナイノデアリマス、從ヒマシテ兎ニ角此ノ馬ノ思想ヲ全般のニ普及シテ、サウシテ多數ノ人ガ馬ニ對スル所ノ考ヘ方ヲ發達シテ戴キタイト、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、只今行ッテ居リマス所ノ鍛鍊競技等

ニ多クノ人ガ趣味ヲ持ッテ集リマスヤウニ致サナケレバ相成ラスと思フノデゴザイマスルガ、其ノ際ニ於テ、賞金デアルトカ或ハ他ノ色々ナ設備ヲシテ人ヲ集メル方法モアリマス、アリマスガ、今日迄兎ニ角比較的其ノ點ニ於テ人ガ集ッテ馬ニ對スル知識ヲ研究シ、馬ニ對スル研究ヲ致シテ、馬ニ對スル所ノ知識ヲ漸次普通致シツ、アリマスルモノハ、矢張り競馬ガ一番貢獻致シテ居ルヤウニ思ヒマス、唯此ノ際馬券ト云フコトヲ全廢致スト云フ事柄ハ考ヘラレル事柄デアリマスケレドモ、實ハ此ノ馬券ニ趣味ヲ持ッテ集ル者モ相當アルノデアリマシテ、之ヲ一時相當人ガ減ッテモ、社會風教上止メルト云フ事柄モ、是ハ出來得ベクムバ爲スベキコトデアリマスガ、現ニ全國ニ於テ百十六箇所ト云フ多數ニ亙ッテ、區々マチニ色々ナ狀態ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ一定ノ基準ノ下ニ、嚴格ナル取締ト又萬全ナル指導ノ下ニ競馬ヲ舉行セシメテ、一面ニ於テ馬ノ資質ノ向上、發達、進歩ト云フコトヲ圖ラスト同時ニ、一面ニ於テ其處ニ集リマス所ノ人々、即チ馬券ヲ買フ人々ニ對シマシテモ嚴重ナル取締ヲ行クコトハ、今日ノ儘ニ放任シテ置クヨリハ確カニ效果的デハナイカ、斯様

ニ考ヘマシテ、先刻申シマス通り軍ノ要望ノアリマシタ此ノ機會ニ之ヲ整理致シテ、サウシテ順次御趣旨ノヤウナ風ニ進メテ行キタイト、斯ウ云フヤウナ建前カラ本案ヲ提出致シタ譯デアリマシテ、私共モ相成ルベタハ速カニサウ云フ馬券ノ如キモノハ認メズシテ、サウシテ馬事思想ノ普及ト馬ノ増産ヲ圖ル途ヲ講ジタイト、斯様ニ考ヘマスノデアリマスケレドモ、今日ノ現狀デアリマスルガ故ニ、只今ノ所デハ現在アルモノヲ半數以下ニ減ラシマシテ、サウシテ成ルベク嚴重ナル規律ノ下ニヤラセルト云フコトガ適當デハナカラウカ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ提案致シタ譯デアリマスカラ、ドウカ此ノ點御了承ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○子爵會我祐邦君 マダ實ハ御答辯ニ付キマシテモ私ノ御願ヒ致シマシタ點ニ觸レテ居ラナイヤウニモ思ハレマスガ、私一人御質問スルノモ如何カト存ジマスノデ、一先ヅ私ノ質問ハ是デ終リマス

○大島健一君 只今會我子爵ノ御質問デ馬券發行ノ弊害ヲ遺憾ナク御述ニナッテ、我々モ同ジ觀察ヲ致シテ居ルモノデアリマシテ、同ジ心配ヲ持ッテ居ルノデアリマス、サウシテ只今兩當局大臣ノ御答辯ニモ矢張り其ノ

弊害ヲ認メテ、行クハ是ハ全廢シタイト云フ御意見ガアルヤウニ拜聽シマシテ至極結構ニ存ジマス、我々モサウナラムコトヲ希望致シマス、デ競馬ガ馬ノ蕃殖ニ極メテ必要ナルコトハ申ス迄モナク過日來段々論議サレテ居リマスガ、其ノ中種馬ノ檢定トカ馬ノ機能ノ檢定トカ、或ハ馬事思想ノ普及トカ云フ風ナコトヲ懇々述ベラレタノデアリマス、私ハ其ノ外ニ於テモ尙馬ヲ造ルコトガ非常ニ大切ナ事柄デアルト思フノデアリマス、恰モ競馬場ハ一般學術ノ實驗室ノヤウナモノデアアル、學理デ研究シタ所ノモノヲ實際ニ付テ其ノ良否ヲ決スルト云フノト同ジヤウナ性質ヲ持ッタモノト思ッテ居リマス、色々競馬ノ種類ノアル「ドイッ」ノ如キ、此ノ種ノ競馬ヲ「ツフト・レンネン」ト言ッテ居リマス、「ツフト」ト云フノハ馬ノ生産デアアルガ、育成競馬トデモ言ッたら宜シウゴザイマセウカ、育成トハ離ルベカラザルコトガ能ク分ルノデ非常ニ必要ナモノデアリマス、之ニハ彼此議論ハナイノデアアッテ、唯之ニ馬券ヲ結ビ付ケタト云フコトデ彼此ノ議論ガ起ルノデアリマス、競馬ト馬券ハ離セヌヤウデ、私共能ク喋ル時ハ、競馬ト言ヘバ馬券ノヤウナ積リデ喋ッタリシマスガ、馬券ト云フモノハ競馬トハ全ク分

ケテ考ヘナケレバナラヌモノデアアル、馬券ノ必要ニ付テモ過日來段々述ベラレタノデスガ、是ハ決シテ偶然ノ輸贏ヲ争フモノデナイ、馬ヲ見ル、走馬ノ鑑識ヲ養フ上ニ數多ノ研究ヲ要スル、其ノ研究ノ結果ヲ自分ガ實際ニ實驗スル爲ニ馬票ヲ買フト云フ趣旨ノモノデアリマスカラ、決シテ偶然ノ輸贏ヲ争フモノデナイト云フコトハ言ヘマス、ガ事實其ノ弊害ガ多數現レテ來ルノデアリマスカラ、是ハドウシテモ此ノ儘存續スルト云フコトハ宜クナイト思フノデアリマス、ソレデ政府ニ於テハ、此ノ馬券制度ハ只今兩大臣ノ御説明ノヤウニ、我ガ國ノ政策トシテ斯ウ云フコトハモウ長クハヤッテ置カレヌモノダト云フコトヲ決メテ、順次之ヲ廢止スル方ニ進ムト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、初メヨリ馬券ヲ利用シタノデハナイノデアリマスケレドモ、財政上已ムヲ得ズ之ヲ以テ馬政ノ補助ノ爲ノ資源ヲ得ヨウトシタ、良イトハ思ハナイデ已ムヲ得ズヤッタノデアリマスカラ、最早今日ノ如ク國力モ進シダ時ニ於テハ、漸次之ヲ廢メルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、前ニ產馬ノ必要ナ時ニハ產馬育成競馬ト云フヤウナモノヲヤッタ如ク、馬政ノ上ニ必要ナモノトスレバ無論國庫カラ必要ナ資本ヲ

出シテ、國費ヲ出シテモ馬券ナドノ必要ナイヤウニシテ、國費ヲ出シテ補助シテヤッテ行クト云フ一般ノ國策會社ヲ政府ガ保護スルヤウナ方法デ進ムベキモノデアラウト思フ、殊ニ今回ノ鍛鍊馬ノ競馬ニ至ッテハ全ク別種ノ目的ガ添ウテ、前ノ競馬ヨリハ一ツノ任務ヲ負ハシタ競馬ニナル、此ノ競馬ハ今日デハマダ種馬ヲソコカラ取ルト云フコトハナイカモ知レマセヌケレドモ、我ガ國ノ馬ノ種類ガ固定シタ曉ニハ此ノ鍛鍊競馬カラモ種馬ヲ取ルト云フコトハ起ッテ來ヨウト思ヒマス、矢張り是ハ殖産競馬デアッテ、育成競馬デアッテ軍用ノ一ツノ目的ヲ持ッテ來テ、今度ハ育成競馬ノ上ニ軍用ノ目的ヲ加ヘタ、又國庫カラ之ヲ補助シテ國策會社トシテ個人或ハ法人ニヤラセルノガ至當ナモノデアアル、勿論今日ハサウ云フ政綱ヲチヤント定メラレテ、將來ハ廢止スルモノダト云フコトヲ明カニシテ置クコトガ必要デアラウ、尤モ今日十分ニ國費ガ足ッテ即席之ヲ行フコトガ出來レバ誠ニ結構デアリマス、マダ今日デハソコ迄行カストスレバ、或時期ヲ見テ只今申サウニヤルト云フコトヲ希望シタイト思ヒマス、只今ノ兩大臣ノ御説明モソコニ趣意ガアルノデアラウト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(板垣征四郎君) 全ク御同感デアリマス
○國務大臣(櫻内幸雄君) 全然御同感デゴザイマス
○大島健一君 サウ云フ趣意デ是ガ進ムトシマスルト、此ノ競馬會カラ國庫ニ收納スル納付金乃至ハ租稅等、成ルタケ是ハ輕減シテヤルト云フコトガ此ノ主義ニ副フモノニナラウト思フ、如何トナレバ國庫ヨリ國策會社トシテヤラシテ其ノ不足ヲ補フベキモノデアアル、其ノ精神ヲ主ニスル、只今ヤッテ居ル所ハ國庫ノ不足ヲ是カラ取ルト云フ權謀ヲヤッテ居リマスケレドモ、成ルベク其ノ權謀……權道ヲ禁ジテ正當ノ主義ニ戻ル、遂ニハソレヲモ廢メテ、馬券ノ結果、我々ノ豫期セヌ寧ロ今日ハ非常ニ世上ニヤカマシク言ハレルガ如キ弊害ノナイヤウニスル、斯ウ云フコトハ今ノ兩大臣モ御見込ガ似テ居ルヤウデアリマス、サウシマス、今言フガ如キ主義デアルト、是ハ財源ノ培養物ト見ズニ、一時斯ウ云フコトヲヤラヌノダカラ是カラ取ル金ハ眞ニ已ムヲ得ヌ金ノミ、斯ウ云フヤウナコトニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ衆議院ノ十一條ニ對スル修正案ハドウ云フ御趣意デ是ガヤラレテ居ルカハ私ハ知りマセヌ、知り

マセヌガ、今ノヤウナ趣意カラ考ヘルト尤モノヤウニモ感ズルノデアリマス、ソレハ尙研究ヲ要シマセウガ、一見私ハソシナヤウニモ感ズルノデアリマス、兎ニ角只今ノ御意見ノ如キデアルト云フト、今日ノ是等ニ對スル納付金ダトカ納税ダトカト云フコトヲ決メル上ニ於テモ、今ノヤウナ考ガアツテ然ルベシト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ、農林大臣ノ方ニ御答ヲ願ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 固ヨリ只今大島

サンノ仰シヤルノト同様ノ意味デアリマスカラ、競馬其ノモノニ必要ナル費用ノ以外ハ、總テ馬ノ獎勵其ノ他ニ使フベキ性質ノモノデアリマシテ、是カラ税金ヲ取ルト云フコトハ本來ノ趣旨デハナイノデアリマス、唯、今迄地方ニ於キマシテ地方税ヲ賦課致シテ居ツタ所モアリマシタノデ、其ノ意味ニ於テ衆議院ニ於キマシテハ此ノ際同意ヲ致シ兼ネルト云フ風ニ内務大臣ガ申シマシタガ、無論貴族院ニ於カレテ之ガ修正ニ對シテ御決定ニナリマスレバ、勿論政府トシテハ十分考慮致ス積リデゴザイマス

○大島健一君 只今申上デマシタノハ私全ク一個ノ意見デアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○次田大三郎君 只今大島委員ノ質問ニ對

シテ政府ハ、馬券附ノ競馬ハ宜クナイコトダ、ソレハ漸ヲ逐ウテ止メル方針デアルト云フハツキリシタ答辯ヲ爲スツタノデ、我々ハ其ノ點ハ非常ニ満足ニ存ズルノデアリマス、此ノコトハ、現在競馬法デヤッテ居リマスル十一箇所ノ公認競馬ニ付テノ御話デモアラウ、又現在事實上行ハレテ居リマスル全國ニ互ル百有餘箇所ノ地方競馬ヲ廢メテ鍛鍊馬競走ト云フモノニシテ、其ノ鍛鍊馬競走ニ馬票ヲ附ケル、馬券トハ申シマセヌガ、馬券類似ノ馬票ヲ附ケル、附ケルガ、併シ是モ宜イコトデハナイカラ、何レ出來ルダケ早イ機會ニソレヲ廢メルト云フ御趣旨デアラウト思フノデアリマス、マア公認競馬ニ關スルコトハ姑ク措キマシテ、鍛鍊馬競走ト云フコトハ此ノ軍馬資源保護法案ニ依ッテ初メテ出テ來タ問題ナノデアリマス、地方競馬ニ弊害ガアレバ地方競馬ヲ廢メテシマヘバソレデ宜シイノデアリマス、別ノ建前デ鍛鍊馬競走ト云フモノヲ新クニ行フニ當ツテ、其ノ鍛鍊馬競走ニ馬券類似ノコトヲクツ附ケルト云フ理由ハ何處ニアルノデアリマセウカ、其ノ點ガ私ノ伺ヒタイ點デアリマス、數日來其ノ點ニ付テ政府委員ノ御答辯ニ依リマスルト、急ニ地方競馬デ百何箇

所デ今色々ナコトヲヤッテ居ル、ソレヲ急ニ廢メルコトハ出來ヌカラ、鍛鍊馬競走ニ馬券ヲクツ附ケテ賭博類似ノコトヲ公認スルノダト云フ御答辯ヲ得テ居ルノデアリマス、其ノ急ニ廢メルコトガ出來ナイト云フ……私ノ考デハ地方競馬ニ弊害ガアルト云フノデアレバ、其ノ根本法デアル所ノ内務省令ト農林省令ヲ廢メテシマヘバ直グ廢メラレル譯デアリマス、ソレガ廢メラレス、サウシテ此ノ所謂陸軍當局ノ劃期的ノ仕事デアル所ノ軍馬資源保護法ニ基ク鍛鍊馬競走ニ弊害ガアリト知リナガラ馬券ヲクツ附ケナケレバナラヌト云フ其ノ事情ヲ、一ツ打明ケテ話シテ戴キタイト思フ、誰ガ一體ソレニ反對スルノデアルカ、私共ノ考デハ、ソレハモウ非常ニ善イコトダカラ、地方競馬ヲ止メテシマツテ、鍛鍊馬競走ヲ一ツ馬券ナシデヤラウデヤナイカ、無論異存ヲ言フ者ハ一人モナイト思フノデアリマス、何カソコニ事情ガアルラシイ御説明ナノデアリマス、其ノ事情ヲ一ツ伺ハシテ戴キタイノデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 今ノ次田委員ノ御話ハ、直グ地方競馬ト云フモノヲ廢シタラ宜イデヤナイカト云フ御議論デアリマスガ、現在地方競馬ニ於キマシテモ、矢張り

馬票ト云フモノヲ行ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ全廢スルト云フコトニ付キマシテハ、全廢ハ勿論出來ヌコトハナイノデアリマスケレドモ、從來ノ地方競馬ト申シマシテモ、矢張り是ガ相當馬匹改良竝ニ馬事思想ノ普及竝ニ馬ノ増産ト云フモノニ對シマシテ多少貢獻ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ是ハ歷代内閣ニ於テヤツタコトト思ヒマスガ、既ニ認メテ其ノ競馬ヲ許シテ居ル、馬票モ認メテ、是ハ或ハ默認カモ知レマセヌガ、認メテ取締リシテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマスノデ、之ヲ一時ニ止メマスコトハ、ソレニ關與シタ人ノ損害ハソレヲ我慢スルト致シマシテモ、其ノ馬場ニ於テ鍛鍊ヲシテ居リマシタ所ノ馬匹ト云フモノニ對シマシテ、其ノ鍛鍊ガ非常ニ不圓滑ニナルノミナラズ、現在ニ於テモ其ノ馬場ニ依ツテ、其ノ競馬ニ依ツテ馬ノ爲ニ貢獻致シテ居ルノガ全然無クナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、ソレヨリハ寧ロ其ノ數ヲ半減ナリソレ以上ニ減ラシテ、サウシテ規律アル下ニ、一定ノ規制ノ下ニヤラシタ方ガ、是ガ馬匹改良ノ上ニ於テモ有利デアリ、又普及ノ上ニ於テモ宜シイト、斯ウ云フ考ニ於テ此ノ案ノヤウナ風ニ致シタノデアリマス、實ハ若シ他ニ適當ナ方法ガアリ

マシテ、モット十分人ヲ集メテ、若シクハ馬ノ普及ヲスル方法ガアリマスレバ、是モ考フベキコトト考ヘマスケレドモ、今日迄長イ間ヤリ來ッテ居ル状態デアリマスノデ、之ヲ一時ニ廢メルト云フ事柄ハ、現在認メテヤラシテ居ル以上ハ、之ヲ整理致サナケレバナリマセヌ、其ノ關係モアリマスノデ多分政府委員ガ説明シタト思ヒマスケレドモ、殘ッテ競馬會ニ於テ、馬匹鍛鍊中央會ニ於テ、廢止スル所ヲ一切整理シテ行ク、斯ウ云フ風ニ致シテ居リマス、別ニソレ以外ニ何等是ト云フ事情ハナイト私ハ心得テ居ルノデアリマス

○次田大三郎君 地方競馬ト云フモノニ關スル認識ガ、私共ト農林大臣トノ間ニハ餘程距離ガアルヤウニ思ヒマスルカラ、甚ダ皆サン御迷惑デアリマスガ、此ノ地方競馬ト云フモノニ付テ私ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲテ、農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フ、地方競馬ハ今日一種ノ賭博場ニナッテ居ル、ト云フコトハ是ハモウ萬人ノ認メル所デアリマス、政府ガ此ノ弊ヲ改メムガ爲ニ其ノ弊ヲ救フガ爲ニ整理スルト言ハレマスル、其ノ事自體ガソレヲ證明シテ居ルノデアリマス、併シナガラ地方競馬ヲ認メタ所ノ内務省令ナリ農林省令ナリヲ調べテ見マスル

ト、是ハ景品附入場券ト云フモノヲ許シテ居ルダケデアリマシテ、賭博類似ノ行爲ハ出來ナイヤウニナッテ居ルノデアリマス、若シソレガ其ノ省令ニ依ッテ賭博類似ノ行爲ガ出來ルト云フコトニナッテ居ルナラバ、其ノ内務省令若シクハ農林省令ハ法律違反ノ省令デアアルノデアリマス、法律ハ、刑法ハ明瞭ニ賭博行爲ヲ犯罪ナリトシテ禁ジテ居ル、唯競馬法ダケハ、其ノ刑法ノ規定ニ對スル例外ヲ開キマシテ、公認競馬ニ馬券ヲ附ケルト云フコトハ犯罪ニナラナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、地方競馬ニ關スル省令ニ認メテ居ル景品附入場券ト云フモノハ、馬券若シクハ今度ノ法律ニアリマスル馬票ト云フモノトハ餘程違ッテ居ルモノナノデアリマス、然ルニ事實上法規ヲ潜リマシテ、各地ノ地方競馬ニ於テ賭博若シクハ賭博類似ノ事ヲヤッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ地方競馬ヲ止メテシマフノハ何デモナイノデ、官憲ガ刑法、刑事訴訟法ノ命ズル所ニ從ッテ取締ヲ嚴重ニ致シマスレバ、恐ラク百何箇所ノ地方競馬ガ一箇所モ殘ラズ直グニ潰レテシマフト思フノデアリマス、繰返シテ申シマスルガ、地方競馬ト云フモノハ内務省令農林省令デ設ケラレマシタモノデアリマシテ、法律デ認

メタモノデヤナイノデアリマス、私共ハ、日本ニ公認ノ賭博場ト云フモノハ競馬法デ認メタ十一箇所以外ニナイト信ジテ居ルノデアリマス、法律ヲ潜ッテ取締ノ「ルーズ」ナニ乗ジテ、各地ノ地方競馬ニ於テ行ハレテ居リマス賭博若シクハ賭博類似ノ行爲ヲ、ソレヲ取締ラナイデ、サウシテソレヲ全體廢シテシマフコトガ出來ナイト云フコトハ、私共ニハ了解出來ナイノデアリマス、鍛鍊馬競走ニ馬券ヲ附ケルガ宜イカドウカト云フコトハ、是ハ新シイ問題デアリマシテ、私共ガ初メテ當面シタ問題トシテ研究スレバ宜シイノデアリマス、地方競馬ヲ廢スルカドウカト云フコトハ、是ハ地方競馬ヲ廢スルト云フコトハ、政府委員ノ、政府ノ説明ナサルヤウナ弊害ガアル以上ハ、是ハ當然ノコトデアルト思フノデアリマス、ソレハモウ決ッテコトトシテ、鍛鍊馬競走ニ馬券ヲ附ケルカドウカト云フコトハ、我々ガ今此處デ審議シナケレバナラナイ當面ノ問題デアアル、マア私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスカ、農林大臣ハ歴代内閣ガ認メテ居ルモノデアアル、地方競馬ト云フモノハサウ云フ御説明デアリマスガ、其ノ點ガ私承服シ兼ねル點ナノデアリマス、脫法行爲ニ依ッテ賭博類似ノコトガ地方競馬ニ行ハレ

テ居ルト云フコトヲ私ハ認メマス、其ノ事實ハ認メマス、併シソレハ如何ナル根據ニ依ッテ合法行爲トナッタノデアリマセウカ、我々ガ法案ヲ審査スルニ當ッテ顧慮シナケレバナラナイ所ノ事實トナッタノデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御説明ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御話ノ通り地方競馬ハ農林内務兩省令デ出テ居ルコトハ其ノ通りデアリマス、又景品附ト云フ名前ノ下ニ馬票ノヤウナ取扱ヲシテ居ルト云フ風ニ私ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、併シソレハ御話ノ如ク、此ノ問題ガ賭博ナリト致シマスレバソレハ取締ルガ必要ト思フノデアリマス、併シ其ノ賭博デアアルカドウデアアルカト云フコトニ付キマシテハ、私法律ニ疎イノデアリマシテ、存ジマセスケレドモ、兎ニ角事實問題トシテ茲ニ現在行ハレテ居リ、而シテ是ガ多少ナリトモ馬匹ノ改良及馬事思想ノ普及其ノ他ニ貢獻ヲ致シテ居ル、其ノ場合ニ於テ、特ニ此ノ馬匹ノ必要ナ際ニ、之ヲ從來ヤッテ居ルモノヲスポット全部禁止シテシマフト云フコトハ、ドウモ馬政計畫ノ上カラ言ッテ餘リ思ハシクナイコトデハナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、旁、從來ノ此ノヤリ方ヲ茲ニ

全部止メマスト共ニ、新ラシキ茲ニ一ツノ規則ノ下ニ嚴重ノ取締監督ヲ致シテ、サウシテ之ヲ執行サセルト云フコトガ合法的デアリ、又社會風教ノ上カラ言ヒマシテモ、キチントシテ取締ノ下ニ於テヤリマスナラバ大シタ害ヲ及ボサナイデハナイカト云フ、斯ウ云フ見地カラ此ノ法案ヲ出シタヤウナ譯デアリマス

○次田大三郎君

ドウモハッキリ分ラナイノデアリマスガ、能ク速記録ヲ拜見シテ尙私モ研究シテ見タイト思ヒマス、モウ一ツ之ハ極メテ簡單ナコトデアリマスガ、先刻農林大臣ノ御説明中ニ、來年度ハ衆議院ノ修正通りニシテモ、地方財政ニハ影響ヲ及ボサナイト云フヤウナ意味ノ御説明ガアツタヤウニ伺ッタノデアリマスガ、サウ致シマスト、來年一パイハ矢張り地方競馬ヲ御ヤリニナツテ、鍛鍊馬競走ト云フコトハ今年、此ノ十四年一パイハ……十五年度カラ鍛鍊馬競走ヲ御ヤリニナル御積リデアリマセウカ

○宇佐美勝夫君 チョット伺ヒタイト思ヒマスガ、此ノ公認競馬ト鍛鍊競馬トアルノデスガ、馬政計畫カラ言ヒマス、經費ノ上カラ言ヒマス、公認競馬ガ今日ノ如ク行ハレテ居リマスナラバ、鍛鍊馬競走ト云フモノニ馬票ヲ加ヘナクテモ、計畫ニ齟齬ヲ來スト云フ憂ハアリマセヌカ、チョット伺ヒマス

○大島健一君 チョット其ノ前ニ私ヨリ伺ッテ來漸次之ヲ整理シテ行クト云フヤウニモ承ツタノデゴザイマスガ、競馬法ノ馬券ヲ伴フ競馬ハ、馬匹改良上、緊張味アル觀衆ノ爲ニ馬券ヲ發行シテ行クト云フノガ、一ツノ改良ノ方法ノ手段トシテ必要デアル、無論馬券ニ對スル良シ惡シノ議論ハ是ハ別ト致シマシテ、馬券ヲ伴フ競馬ガ必要デアルト云フ意味ニ於テハ將來モ根本ガ變ラナイ以上ハ、必シモ之ヲ御整理ニナルコトハナイト私ハ思フノデゴザイマス、馬券ヲ賣ラナイデ此ノ目的ヲ達スルコトガ出來レバ、是ニ越シタコトハナイコトハ同様ニ存ジマスガ、今日ノ日本ノ馬事思想其ノ他ノ現狀、又馬匹改良ヲ非常ニ要求スルコト切實ナル今日、此ノ目的ヲ達スル爲ニハ色々難ガゴザイマセウガ、此ノ馬券ヲ伴フ競馬場ニ於テ眞劍味ノ下ニ最大能力ヲ檢定シ、以テ其ノ充實シタル種馬ノ補給ニ依ッテ軍ノ要求スル所ノ質實剛健ナル實質ノ伴フ馬ノ生産ニ當テル、之ガ生産ノ目的ノ一ツノ手段トシテ馬券ト云フモノガ、色々非難ハアリマスケレドモガ、此ノ程度ニ於テ認メラレルト云フヤウニ私ハ存ジテ居リマス、大臣ニハ若シカサウ云フモノヲ用ヒナイデ出來レバ誠ニ結構デアルト云フヤウナ御答辯デアルト思ヒマスガ、其ノ點ヲ……

○大島健一君

○國務大臣(櫻内幸雄君) 明年ト申上ゲタノハソレハ間違デ、本年デアリマスガ、此ノ地方競馬ハ本年一パイデ廢メマシテ、來年十五年一月一日カラ是ハ新シイ法ニ依ッテ實施致シタイト思ッテ居リマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 此ノ公認競馬ノ競爭ニ出マスノハ輕種デアリマシテ、地方鍛鍊馬競爭ニ出マス馬ハ軍馬資源法ニ基キマス軍用馬デアリマシテ、自ラ異ッテ居リマス

○宇佐美勝夫君 私人御尋スルノハ、既ニ御計畫ニナツテ居ル馬政計畫ニ付テデスナ、之ガ爲ニ要スル費用ハ、地方鍛鍊馬競走ニ馬券ヲ附スルカ附セナイカト云フコトハ關係ガナク行ハレル積リデ居リマスガ……分リマセヌカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 公認競馬ト、此ノ地方競馬ト、所謂鍛鍊馬競走ノ方トハ、全然違ッテ居ルデアリマス

○子爵西尾忠方君 大臣ノ御出デノ時ニチヨット伺ヒタイノデスガ、先刻大島委員カラ此ノ馬券ノコトニ付テ色々御質問ガアリマシテ、之ニ對シテ兩大臣カラ御答辯ガゴザ

○國務大臣(櫻内幸雄君)

○子爵西尾忠方君

○大島健一君

○大島健一君

○大島健一君

ナイモノニスルコトモアリマセウ、サウ云フヤウニシテ、此ノ競馬ハ、此ノ間次田君ヨリ御質問モアリマシテ誠ニ私ハ感シタノデアリマスガ、今日ノ競馬ハ子供ヲ連レテ行カレヌ、入場料ヲ拂ハナケレバ入レヌ、斯ウ云フヤウナコトハ誠ニ残念ダト思フ、私ハ成ルベク競馬ナゾハ、サウ云フ風ニシテ總テニ馬ニ親シミ、馬事ヲ知ル機會ヲ與ヘタイト思フ、ソレハ次田君モ此ノ間仰シヤッテ、博奕メイト事ヲヤッテ居ル所ヘ子供ナゾ連レテ行カレヌ、是ハ御尤デアリマス、サウ云フ憂ノナイヤウニ、多クノ人ガ觀ルヤウニスル各種ノ方法ハアラウト思ヒマス、ソレヲ一々私ハ此處ヘ列ベテ申上グルノデアアリマセヌケレドモ、兩大臣ノ御答辯ノ模様ヲ伺ッテ、丁度只今申ス如キ適當ナル方法ニ改良サレルノデアラウ、競馬ハ動カスベカラザルモノデアアルガ、馬券ハ何トカ改良ノ方法モアルベキ筈デアアル、サウ云フ政府ノ方針ヲ立テ、今後ヤラセマシテ、總テノ議論ヲスル者モ暫ク忍ンデ、先ヅ終ヒニハ斯ウナルモノダト云フ安堵ヲスルデアラウ、ドウカ此ノ安堵ヲ與ヘルヤウニ政策ガナツテ欲シイト私ハ思フカラ、其ノ質問ヲ簡單ニ致シタノデアリマス、ソレカラ以上ハドウカ政府デ御答ヲ願ヒマス

○子爵西尾忠方君 馬券ノ弊害其ノ事ヲ適當ニ整理シテ行ク上ニ、將來政府ニ考慮シテ貰ヒタイト云フ御質疑デアラウト私ハ思フノデアリマス、モシカ左モナケレバ、馬券ト云フモノヲ競馬カラ離シテ、馬券ヲ止メサセル、今日競馬法ニ明カニ認メタルモノハ馬券ヲ伴フ競馬、即チ之ガ所謂刑法ノ特別法デアリマシテ、競馬法ガ今日存立シテ居ル所以デアラウト思ヒマス、此ノ馬券ト云フモノノ善シ惡シハ又別ト致シマシテ、私ノ意見ヂヤナイ、唯併シ順序トシテ申上ゲルンデアリマスガ、是ハ既定ノ事實デ、其ノ馬券ノ弊害其ノ他ヲ漸次整理シテ、世ノ非難、社會風教ニ惡影響ヲ及ボサナイヤウニ善處シテ貰ヒタイト云フ意味ノ質問ニ對スル御答辯デアラウト私ハ解釋シタンデアリマスガ、其ノ點ヲモットハッキリ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 競馬法ニ依リマス競馬ハ、是ハ別箇ノ問題デアリマシテ、只今大島委員ノ御質問ニ對シテ答ヘマシテ順次整理シテ行キタイト申シタノハ、此ノ軍馬資源保護法ニ依ル地方鍛鍊馬ノ事ヲ意味シテ居ルノデアリマス、競馬法ニ依リマス馬券ニ關シマシテハ、自ラ多年論議サレマシテ決定サレテ居ルノデゴザイマスカラシテ、此ノ際之ニ對シテ若シ弊風アリト致シマスレバ、之ノ弊風ヲ除去スルト云フコトハ今西尾子爵ノ仰シヤル通りデアリマスガ、先刻御答辯申上ゲマシタノハ、此ノ地方競馬ノ整理ニ付キマシテノ答辯ト御承知戴キタイト思ヒマス

○子爵曾我祐邦君 私人質問ニ付キマシテ申上ゲテ置キマシタ其ノ御答辯ガ、本旨ニ觸レテナイノデ、極ク簡潔ニ申上ゲマスト、若シ國家ガ此ノ財源ヲ得テ之ニシツカリト馬政策ノ計畫ヲ樹立スルコトガ出來タナラバ、地方ノ鍛鍊競馬ノ如キモノモ、詰リ馬券ノ如キ種類ノモノヲ行ハシメズニヤッテ行クヤウニスルコトハ出來ナイモノデアリマセウカト云フコト、若シ又其ノ計畫ガ非常ニ能ク行ハレル時ニ至ッテ、ソレガ遠キ將來ニ於テ……近キ將來ニアルカ存ジマセヌガ、公認競馬カラ博奕制度ヲ止メテ行クコトハ出來ナイモノデアリマセウカ、若シ馬匹計畫ガ十分ナルシツカリシタ基礎ノ上ニ立テラレテ、國家ガ之ニ相當ナ金ヲ使フト云フナラバ、サウ云フ弊害ノ存在シテ居ルヤウナコト、又賭博ノ機會ヲ支ヘルヤウナ事ハ、根本カラ御廢シナル御積リハアリマセヌカト云フコトヲ極ク簡單ニ伺ヒタイ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 若シ馬政計畫ガ非常ナ大キナ計畫ニ依ッテ立チマシテ、サウシテ國民ノ思想、國民ノ關心ヲ其ノ方ニ全部呼ビ集メル方法ガ適當ニ考ヘラレテ、サウシテ此ノ現在必要ナル所ノ軍馬及内地ノ種牡馬ニ付キマシテ萬全ヲ期スルノ途ガ立チマスルナラバ、ソレハ此ノ地方鍛鍊馬ノ如キハ、鍛鍊馬競走ノ今日ノヤウナ計畫ハ、是ハ私廢止シテモ差支ナイト思ッテ居リマス、公認競馬ニ至リマシテハ、是ハ今日既ニ許サレテ公認サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ更ニ十分研究ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス

○子爵曾我祐邦君 能ク分リマシタ、既ニ公認競馬ハ法律ノ許ス所ニナツテ居ル、ダカラ新タニ研究スルト仰セラレルガ、此ノ公認競馬ノ弊害ガ矢張り風教上ニ及ボサレテ居ルコトヲ御認ニナツテ居ルヤウデモアリマスカラ、將來、只今鍛鍊競馬ニ付テ色々理窟ヲ御立テニナリマシタト同ジヤウナコトガ、公認競馬ニ於テ行ハレル時ハ同ジ弊害ヲ御認ニナル方ガ宜イト思召スノデアリマスガ、公認競馬迄モ止メテシマフト云フコトガ出來レバ、其ノ方ガ風教ノ上カラ宜クハナイカ、斯ウ考ヘマスガ如何デアリマセウ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 曾我子爵ノ御意見モ同一デアラウト思ヒマスガ、競馬ハ差支ナイト云フ意見デアルト思ヒマス、唯問題ハ馬券ノ問題デアラウト思ヒマスガ、此ノ馬券ニ付キマシテハ一利害ガ伴フノデアリマシテ、其ノ馬券ニ代ルベキ、即チ大衆ノ關心ヲ集メ得ベキ何等カ方法ガ付キマシタ場合ニハ、是ハ私ハ大ニ考慮スベキ問題ダト考ヘテ居リマス

○子爵曾我祐邦君 陸軍大臣トシテ其ノ點ハドウ御考ニナリマスカ

○國務大臣(板垣征四郎君) 農林大臣ノ言ハレタ通りデアリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 他ノ委員會ニ出席サレル御都合ガゴザイマスカラ、大臣ニ直接御聽キニナルコトハ是デ宜シウゴザイマスカ

○侯爵西郷從德君 十五分バカリ速記ヲ止メテ懇談ヲ遂ゲ、本日ハ御散會ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ速記ヲ始メテ、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ委員會ヲ開キマス

午後三時二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵千田 嘉平君
委員

侯爵西郷 從德君
侯爵四條 隆德君
子爵高倉 篤麿君
子爵曾我 祐邦君
子爵西尾 忠方君
大島 健一君

宇佐美勝夫君
男爵關 義壽君
男爵佐藤達次郎君
次田大三郎君

高島 順作君
三橋 彌君
宇野 勇作君
米原 章三君

國務大臣

陸軍大臣 板垣征四郎君
農林大臣 櫻内 幸雄君

政府委員

陸軍少將 中村 明人君
馬政局長官 荷見 安君
馬政局事務官 伊藤莊之助君

昭和十四年三月十九日印刷

昭和十四年三月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局